

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策 敷地内に法人本部(特別養護老人ホーム)があり指示を受けやすい環境にあるも、事業所内でも有事の際の職員体制を明確にすることが望まれる。あわせて地域住民の参加の促しを期待したい。	地震災害等はいつ起こるかわからないので、災害発生時は、どのように対応するのかグループホーム職員で対策を検討し、職員体制を周知し有事に備える。	災害時の対策について職員全体で見直しを行う。年2回の防災訓練に地域住民の方の協力を得るよう働きかける。	3ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 時代の流れによって制度改正が行われていることや、開所後15年あまり経過していることを鑑み、今後利用者の状態の変化に応じて随時家族へ提案する等職員から発信することを期待したい。	権利擁護に関する制度を熟知し、日常生活自立支援事業、成年後見制度以外にも、高齢者虐待防止法、身体拘束規定等、全職員が制度を理解するよう取り組んでいく。	内部研修の勉強会内容に取り入れ、職員間で情報共有する。 利用者の状態の変化に応じて、ご家族に制度についての情報提供を随時行っていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。